

令和8年度第1回

浜松市障がい者自立支援協議会事務局会議会議録

1 開催日時 令和8年5月28日（木） 午前10時00分～正午

2 開催場所 浜松市役所3階 32会議室

3 出席状況

所属	出席者氏名
障害者政策課	川崎 晶子
	鈴木 史哉
	白柳 麻衣子
中央福祉事業所社会福祉課 障害福祉第二グループ	石川 鉄兵
中央福祉事業所社会福祉課 東社会福祉グループ	中谷 知由
中央福祉事業所社会福祉課 西社会福祉グループ	高部 俊吾
中央福祉事業所社会福祉課 南社会福祉グループ	小枝 信幸
浜名福祉事業所社会福祉課 北社会福祉グループ	山本 睦代（欠席）
浜名福祉事業所社会福祉課 障害福祉グループ	島田 佐栄実
天竜福祉事業所社会福祉課 障害福祉グループ	戸塚 美幸
浜松市障がい者基幹相談支援センター	後藤 翔一朗
	岸 直樹（欠席）
	野島 和樹
	小杉 茉巳
	本宮 早奈映
中障がい者相談支援センター	永田 実枝子
東障がい者相談支援センター	平野 明臣
西障がい者相談支援センター	袴田 章彦（欠席）
南障がい者相談支援センター	大場 拓弥
北障がい者相談支援センター	飯塚 怜子
浜北障がい者相談支援センター	大柳豆 勇太
天竜障がい者相談支援センター	那須 将司
医療的ケア児等相談支援センター	高 真喜
	藤田 恵理子

4 議事内容

- (1) 協議会体制について
- (2) 専門部会活動報告
- (3) 第1回市全体会議題について
- (4) 共同支援会議等の進捗状況
- (5) 各エリアからの情報共有
- (6) 浜松市障がい者福祉実施計画等について

5 会議録作成者 障害者政策課 企画相談グループ

6 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 無

7 会議記録

(1) 協議会体制について

○変更点について

- ・ 令和8年度から浜松市障がい者自立支援協議会設置要綱を一部改正し、事務局会議と企画会議の名称を変更した。

<意見>

- ・ なし

(2) 専門部会活動報告

【相談支援部会】

- ・ 5月に令和8年度第1回相談支援部会を開催した。会議録は作成中のため、次回の事務局会議で共有する。
- ・ 機能強化型事業所の参画については、継続協議していく。

【就労部会】

- ・ 5月に令和8年度第1回就労部会を開催した。会議録は作成中のため、次回の事務局会議で共有する。
- ・ 部会では、就労選択支援ワーキングの報告と就労定着支援における課題について話し合いを行った。
- ・ 就労選択支援ワーキングでは、特別支援学校と相談機関との連携について意見をもらったので、6月の就労選択支援ワーキングでは特別支援学校の先生と相談機関を交えて意見交換を行う予定。
- ・ 今後、特別支援学校における就労選択支援の利用について検討する場を設定していきたい。

- ・ 就労定着支援における課題については、今年度から商工会議所の青年部の方にも部会に参画いただいたことから、企業向けアンケートを実施していく予定。
- ・ 下半期では、アンケート結果を集約した上で、就職した後の課題について整理していきたい。

【強度行動障がい児者支援プロジェクト】

○各エリアの強度行動障がいの状態にある方への支援について、各エリアでのこれまでの取組や今後の予定について、情報提供をいただきたい。

(天竜エリア)

- ・ 現時点で、取組は予定していない。

(浜北エリア)

- ・ 機能強化の取組として2ケース取り扱っている。強度行動障がい児者支援プロジェクトのメンバーとなっている方にも協力いただき、事例検討を行っている。
- ・ 事例検討の中で、アセスメントの重要性について意見が出ており、実際の現場へアセスメントの実施状況等を見学することを検討していきたい。
- ・ 今後、強度行動障がい児者支援プロジェクトとも連携していきたい。

(北エリア)

- ・ 強度行動障がいを考える部会があるので、部会の中で事例検討等を行っている。
- ・ 三方原スクエアにも部会に参加してもらい、対象の方の特別支援学校卒業後の進路について、検討していく。
- ・ 施設見学を今年度も実施していく。職員が実際に強度行動障がいの状態にある方がいる現場に入り、どのような支援を行っているかを体験する研修を企画している。
- ・ 課題点として、見学であればある程度人数は集まるが、派遣研修になるとあまり集まらない印象がある。

(南エリア)

- ・ 南エリアでは、強度行動障がいの状態にある方に特化した取組はない。しかし、今年度からこども支援プロジェクトの中で事例検討を行うため、その中で強度行動障がいの状態にある方の事例を取り扱うことも検討していく。

(西エリア)

- ・ 担当者欠席のため、次回以降に聞き取りを行う。

(東エリア)

- ・ 現時点で、取組は予定していない。

(中エリア)

- ・ グループホームで強度行動障がいの状態にある方の受入れを促進できるよう

勉強会等の企画を検討している。

- ・ 個別ケースでの取扱いはあり、強度行動障がい児者支援プロジェクトとも連携できればと考えている。

(3) 第1回市全体会議について

- ・ 各エリアの活動報告をしていただく。報告様式等については、後日、障害者政策課から指示する。資料の提出期限は6月末を予定している。

<意見>

- ・ なし

(4) 共同支援会議等の進捗状況

○進捗管理表の取扱いについて

- ・ 進捗管理表で取り扱う案件は、事務局会議内で議論を行い、今後、事務局会議内で進捗管理することが決定したものとし、過去のケースに積み上げで記載する。
- ・ 進捗管理表は、過去にクローズした案件も記載するが、浜松市障がい者自立支援協議会市全体会等で報告する際には、過去にクローズした案件も掲載すると資料として多量になってしまうため、現在管理しているものと、その年度内に完了したものを抜粋して報告するものとする。

○企画会議での共同支援会議報告に伴う資料提出について

- ・ 企画会議報告時の2日前までに障害者政策課へ資料を提出する。

<意見>

- ・ なし

(5) 各エリアからの情報共有

○エリア連絡会全体会における市協議会取組報告について

<意見>

- ・ 浜松市障がい者自立支援協議会の取組内容を伝えると、エリア連絡会構成員からは、内容として分かり辛いと言われることがあり、改善が必要だと感じる。
- ・ 各エリアにおいて、浜松市障がい者自立支援協議会の説明をするポイントを統一したいので、障害者政策課の方から、説明のポイント及び、説明の読み文等を作成してほしい。
- ・ エリア連絡会全体会では、各エリアでの取組報告を中心に行うが、エリアとして市協議会の取組内容への関心が高いこともあり、議題から外せない現状がある。
- ・ エリア連絡会の取組内容は、浜松市障がい者自立支援協議会と連動しながら行

っている取組であると示すため、エリア連絡会全体会では、市全体での取組内容の報告は続けていきたい。

<結論>

- ・ 事務局会議内における議論のトピック等を示し、構成員が共通認識を持てるようにする。また、取り扱う内容について、疑問点や整理したい点がある場合に備え、事務局会議で質疑応答を行う時間を確保する。
- ・ エリア連絡会事務局は、浜松市障がい者自立支援協議会事務局会議にて共有される議論のトピック等を考慮し、各エリア連絡会全体会で取り扱う内容をエリア連絡会事務局にて検討する。

(6) 浜松市障がい者福祉実施計画等について

- ・ 関連する会議、パブリック・コメント等のスケジュールについて共有

<意見>

- ・ なし